

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成21年度技術情報第19号(ジャガイモの疫病)について(送付)

ジャガイモの疫病について情報をとりまとめましたので送付します。

ジャガイモの疫病が一部の地域で発生しています。今後も発生が増加すると予想されますので、防除対策を徹底してください。

1 農作物名 ジャガイモ

2 病害虫名 疫病

3 予報内容

(1) 発生地域 県本土、熊毛

(2) 発生量 多

4 情報の根拠

(1) 3月1日～3日の調査では、発生ほ場率が38%と2月中旬以降急に高くなり、生育の早い作型では発生程度の高いほ場も一部で認められた(表1、図1)。

(2) 本病は開花期を過ぎ、平均気温が15～16℃で、降雨が数日続くと発生し、曇雨天で気温が18～20℃で経過すると激化する。

(3) 2月下旬以降、平年に比べて雨の日が多く、気温も高く経過し、発病しやすい条件となっている。向こう1か月の天候は、平年に比べ曇りや雨の日が多く気温は高いと予報され、今後も発病しやすい条件が続くと予想される。

表1 疫病の発生状況

調査日：3/1～3

地 域	調査ほ場数	程度別発病ほ場数				調査地点	
		甚	多	中	少		計
北 薩	6				5	5	長島町
南 薩	9					0	指宿市開聞
大 隅	6			1*	2	3	南大隅町・錦江町
計	21			1	7	8(38%)	

注) () は発生ほ場率、※は3月収穫予定の生育の早いほ場

5 防除上注意すべき事項

(1) 排水の悪いほ場では多発するので、排水対策を十分行う。

(2) 発病後は急速に病勢が進展するので、防除は降雨前の予防散布に重点をおき、薬剤が下葉に十分かかるよう散布する。

(3) 同一系統薬剤の連用を避け、作用性の異なる薬剤とのローテーション散布を行う。

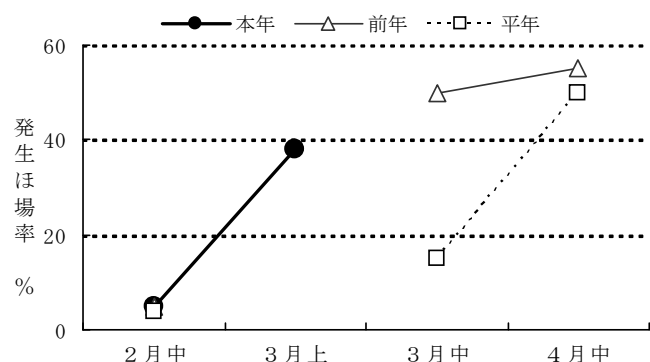


図1 疫病の発生推移(ジャガイモ：県本土)

(参考)

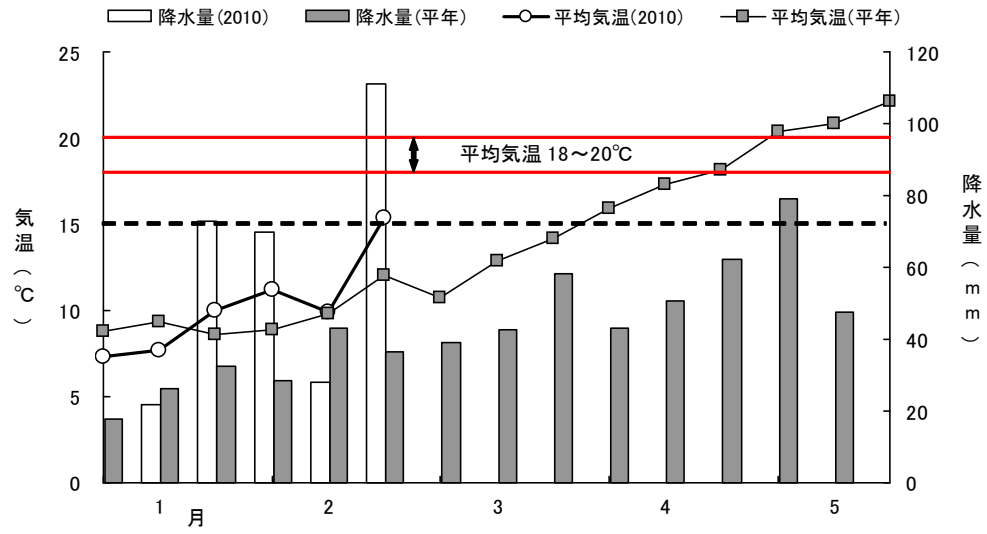


図2 2010年の平均気温、降水量と平年との比較(観測地:鹿児島市)



写真1 葉での発生(白色霜状のカビを密生する)